

電気防食により半永久的に 給水管を錆から守る

金属に電気を流し続けることで錆の発生を抑える「電気防食」により、給水管の劣化を抑制する技術。配管内に微弱な電気を流し続けることにより、錆が発生しやすい継手部分を腐食から守り、赤水の発生を防ぐ。

現在使用している給水管を交換することなく延命可能。これまでに関東圏を中心に約1,400棟に導入実績がある。

- ・特許取得（第3363767号）
- ・技術審査証明取得（第0105-D号）
- ・10年間の製品保証・効果保証付き

【特長】

①確かな防食効果

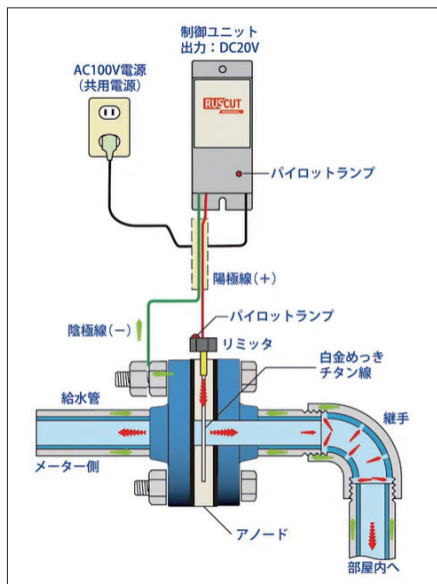
電気防食による錆の発生抑制効果は半永久的で、薬剤を使用せず、電気も微弱なので、人体や環境に優しい。また副次効果として、細菌などの繁殖を抑制する効果もある。

②工事負担の軽減

施工場所はパイプスペース内のため、室内での工事はない。また断水は、共用部配管工事の際に1日（9時～17時）の全戸断水、専有部配管工事の際に半日から1日の系統断水で済むため、居住者への負担が少ない。

③長期延命と低コストを実現

メンテナンスは、年に1度電気が流れていることをランプ点灯で確認するのみ。また適切な時期に機器や消耗品の交換をするだけなので、修繕費用を抑えることができる。電気料金は1個当たり年間50円と、経済的負担が軽く済む。



工法概要図

■施工手順

共用部配管工事例



電気工事例



問い合わせ先

タマガワ株式会社 Tel.03-5437-0170 <https://www.ruscut.com/>